

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年7月15日(火) 速報 令和7年7月22日(火)

2 患者数

1名 (男、小学生)

3 概要

(1)経過

7月15日(火) 患者(岡山市)は、軟便及び腹痛の症状を呈した。

7月16日(水) 患者は血便及び発熱の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。

7月19日(土) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O103)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者の症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	10人
県内(岡山市を除く。)	17人
県内合計	27人

(岡山市の前年同時期の発生状況:12人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751